

1997年度

# 新潟国際情報大学教員紹介

〒950-22 新潟市坂田字カタハタ46-1  
tel : 025-239-3111 fax : 025-239-3690  
WWW : <http://www.nuis.ac.jp/>

# 目次

情報文化学部 情報文化学科	1
會田彰	3
明石欽司	4
池田庄治	5
石川眞澄	6
市岡政夫	7
白井陽一郎	8
内山鉄二郎	9
内山秀夫	10
海野芳郎	11
區建英	12
小澤治子	13
越智敏夫	14
金己大	15
蔡建国	16
佐藤晟	17
澤口晋一	18
高瀬昭治	19
高橋正樹	20
原口武彦	21
広瀬貞三	22
情報文化学部 情報システム学科	23
赤木敏子	25
浦昭二	26
大山毅	27
片山禎昭	28
斎藤泰則	29
榊俊作	30
正田達夫	31

高木義和 . . . . .	32
竹並輝之 . . . . .	33
玉木將二郎 . . . . .	34
槻木公一 . . . . .	35
永井武 . . . . .	36
樋口光明 . . . . .	37
藤瀬武彦 . . . . .	38
松井孝雄 . . . . .	39
松崎奈岐 . . . . .	40
皆川七郎 . . . . .	41
宗澤拓郎 . . . . .	43
大和淳二 . . . . .	44
柳在相 . . . . .	45
鷺尾泰俊 . . . . .	46
渡辺忠 . . . . .	47
<b>索引</b>	<b>49</b>

発行 新潟国際情報大学

発行日 1997 年 4 月 1 日

- この冊子の記述は 1997 年 4 月現在のものです。
- この冊子の内容は <http://www.nuis.ac.jp/> でも公開しています (一部非公開)。
- 教員の個人研究室の内線番号に “239”(新潟市外からは “025-239”) をつけると外線から直接電話をかけられます。

\*本冊子は UNIX 上の ASCII 日本語  $\LaTeX$  を使って組版しました。

情報文化学部 情報文化学科

氏名 會田彰 (あいだ あきら)

研究室 306 (内線 3714, email: aida@nuis.ac.jp)

担当科目 政治と文化, 情報社会論, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 教授

生年 1929 年

学歴 1954 年 新潟大学教育学部卒業

1957 年 京都大学大学院文学研究科社会学専攻修士課程修了

1960 年 京都大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程修了

職歴 新潟大学教授 (教養部・法学部)

研究分野 政治文化論、世界システム論、高度情報社会論といった分野であるが、今日の文明史的大転換のときに遭遇し、「日本人の未来学」ともいうべきものの構築の必要を痛感している。それ故、新しいグランド・セオリー (巨大理論) としての「未来学」も含めたい。

主要著作

【N.J. スメルサー 集合行動の理論】(翻訳)(誠信書房、1973 年)

【転換期の現代社会学】(編著)(アカデミア出版会、1980 年)

【現代を生きる社会学】(共著)(ミネルヴァ書房、1991 年)

【媒介原理的比較政治文化論】(『現代社会学』第 4 号、1975 年)

【市民性の復権と生涯学習社会への道】(『法政理論』新潟大学法学会、19 卷 4 号・20 卷 1 号、1987 年)

所属学会 日本社会学会, 日本政治学会, 環日本海学会

氏名 明石欽司 (あかし きんじ)

研究室 507 (内線 3736, email: akasi@nuis.ac.jp)

担当科目 国際社会と法, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 講師

生年 1958 年

学歴 1983 年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業

1986 年 慶應義塾大学大学院法学研究科公法学専攻博士課程中退  
法学博士 (オランダ・ユトレヒト大学)

職歴 1986~1993 年 海上保安大学講師

1993~1995 年 在ベルギー日本大使館専門調査員

1995~1996 年 ブリュッセル自由大学国際法学研究所研究員

研究分野 現代「国際社会」及びそこに機能している「法」を理解し批判的検討を加える視座を得るため、国際法の歴史的を専攻してきました。特に、近代主権国家・国際システムの生成と国際法学説・国家実行の関係、国際法学における法実証主義の生成過程等に興味を持っています。

#### 主要著作

Gornelius van Bynkershoek; His Contribution to the Development of International Law (Utrecht, 1996)

【海上犯罪の理論と実務】(共著)(中央法規出版、1993年)

「ウエストファリア条約の研究」(一)~(六・完)【法と行政】(中央学院大学)第3巻第1号以下

「17世紀オランダの中立通商政策」【研究報告】(海上保安大学校)第38巻第1・2号

「バイケルスフークの jus gentium 理論」【研究報告】(海上保安大学校)第39巻第1号

所属学会 日本国際法学会, American Society of International Law, 世界法学会

その他 T.M.C, Asser Institut(オランダ・ハーグ市)(1990~91年)

氏名 池田庄治 (いけだしょうじ)

研究室 302 (内線 3711, email: ikeda@nuiis.ac.jp)

担当科目 経済と社会, 日本の経済, 企業と経営, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 教授

生年 1929 年

学歴 1968 年 明治大学大学院政治経済研究科経済学専攻博士課程修了

職歴 1995 年まで 新潟大学教授

研究分野 地場産業、地域経済、中小企業。

情報化の時代における新しい地域経済、とくに地場産業や中小企業の視点から、21 世紀への新潟県における新しい経済社会の動向を考察していきたい。

主要著作

【自動車経済政策論】(世界書院、1968 年)

【経済学要論】(社会学社、1968 年)

【新潟の地場産業】(野島出版、1978 年)

【新潟県の伝津伝統産業・地場産業】上巻・下巻(第一法規出版、1984 年)

所属学会 日本経済政策学会, 日本中小企業学会

氏名 石川眞澄 (いしかわ ますみ)

研究室 602 (内線 3751, email: ishikawa@nuis.ac.jp)

担当科目 日本政治史, 政治情報, 文章表現, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 教授・情報センター長

生年 1933 年

学歴 1957 年 九州工業大学機械工学科卒業

職歴 朝日新聞記者

研究分野 現代日本政治の動態を分析し、政治過程、政治構造、場合によっては政治思想について考察する。また、選挙分析、選挙制度論にも関心をもつ。日本語の分かりやすく説得力をもつ表現技術についても研究する。

#### 主要著作

【戦後政治構造史】(日本評論社、1978 年)

【ある社会主義者―羽生三七の歩いた道―】(朝日新聞社、1982 年)

【短い文章のコツ】(KK ベストセラーズ、1982 年)

【日本政治の透視図】(現代の理論社、1985 年)

【戦後政治史】(岩波新書、1995 年)

所属学会 日本政治学会, 日本選挙学会 (理事), 日本マスコミュニケーション学会

その他 英国オックスフォード大学セント・アントニーズ校客員研究員 (1993 年)



氏名 市岡政夫 (いちおか まさお)

研究室 403 (内線 3722, email: ichioka@nuiis.ac.jp)

担当科目 ロシア語 I・II・III, 現代ロシア論, 情報文化研究 I・II

職名 教授

生年 1939 年

学歴 1963 年 早稲田大学第一文学部露文専修卒業

職歴 新潟市国際文化部長

研究分野 環日本海圏内におけるロシア極東。ロシア語教授法。環日本海圏の一地域でもあるロシア極東の研究。ロシア語を日本人に教えるには、特殊的にどのような点に留意すべきか、ロシア語教授法の研究。

#### 主要著作

『自治体の国際交流』(共著)(学陽書房、1984 年)

『自治体の国際政策』(共著)(学陽書房、1988 年)

『入門ロシア極東生情報』(共著)(テレビ新潟放送網、1996 年)

「日本海を囲む輪を」(『世界』1991 年 3 月)

「環日本海経済圏の将来像」(『世界経済評論』1995 年 4 月)

所属学会 ロシア東欧学会, 日本ロシア文学会, 環日本海学会

#### その他

国立モスクワ大学 ロシア語教授法 (1967~68 年)

国立極東総合大学 ロシア極東 (1991~92 年)

氏名 臼井陽一郎 (うすい よういちろう)

研究室 601 (内線 3750, email: usui@nuis.ac.jp)

担当科目 現代ヨーロッパ論, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 講師

生年 1965 年

学歴 1989 年 早稲田大学社会科学部卒業

1992 年 早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了

1995 年 早稲田大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

職歴 1994~1996 年 早稲田大学社会科学部助手

研究分野 EU 地域研究、経済社会学。

EU の形成や各種共通政策 (とりわけ国境を超えた地域間ネットワークの形成や統合環境政策) の展開が近代的な独立主権国家システムをどのように変容させているのかが、研究の主たる関心である。また EU に限らず、グローバル化 (地球一体化) の進展に伴う地球社会の生成とローカル化によるヴァナキュラーな (地域固有の) 生活圏の生成の同時進行が、独立主権国家システムに及ぼす影響について関心を持つ。

#### 主要著作

「EC 委員会とヨーロッパ利益団体」『早稲田大学経済学研究』第 36 号、早稲田大学大学院経済学研究科 1992 年 12 月

「ヨーロッパ・ユニオン形成における二つの焦点」『早稲田経済学研究』第 38 号、早稲田大学大学院経済学研究科 1993 年 12 月

「EU の通商戦略と WTO への対応」『外交時報』第 1331 号、外交時報社 1996 年

「EU におけるサブシディアリティーの原理と協調的連邦制の概念」『ソシオ・サイエンス』第 1 号 早稲田大学大学院社会科学部研究科 1995 年

「EU における近代国家の変容と地域政策の展開」『ソシオ・サイエンス』第 2 号 早稲田大学大学院社会科学部研究科 1996 年

所属学会 経済社会学会, 国際経済学会, 日本政治学会, 日本公共政策学会

氏名 内山鉄二郎 (うちやま てつじろう)

研究室 165 (内線 3701, email: tetsuji@nuis.ac.jp)

担当科目 アメリカ文化論 1・2, 英語文化研究 II, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 教授

生年 1931 年

学歴 1955 年 新潟大学人文学部卒業

1958 年 東京都立大学大学院人文科学研究科英文学専攻修士課程修了

職歴 新潟大学人文学部教授 (アメリカ文化、アメリカ文学担当)

研究分野 アメリカ文化はグローバルな広がりをもって、日本文化を含めて多くの国々の文化に様々な影響を与えています。アメリカ文化をそのようなものに行っているのは何か、そしてそれはどのような文化であり、あったのであり、あろうとしているのか。このことをアメリカ文学、歴史、文化論に基づいて考察していきたいと考えております。

#### 主要著作

【概説アメリカ文学史】(金星堂、1981 年)

「THE PROBLEM OF THE CENTRAL CHARACTER IN *THE AWKWARD AGE*」  
(『新潟大学人文科学研究』1967 年 12 月第 34 輯)

「『アメリカの息子』の問題点ー出口を塞いだ黒人のドラマ」(『新潟大学人文科学研究』1974 年 12 月第 46 輯)

「『習作』としての『デイジー・ミラー』」(『新潟大学人文科学研究』1994 年 12 月第 86 輯)

所属学会 アメリカ学会, 日本アメリカ文学会, 日本英文学会

その他 アメリカ合衆国出張 (イースト・ウエスト・センター)(1965~1966)

氏名 内山秀夫 (うちやま ひでお)

研究室 171 (内線 3707, email: uchiyama@nuis.ac.jp)

担当科目 情報文化

職名 学長・教授

生年 1930 年

学歴 1953 年 慶應義塾大学経済学部卒業

1958 年 慶應義塾大学法学部政治学科卒業

1954 年 慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程中退

1964 年 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程修了

職歴 慶應義塾大学法学部教授

研究分野 政治理論、近代日本研究、情報文化論。私の専門は政治理論ですが、それは二種類の方向をもっています。一つは民主主義理論を常に修正しつつ提起することと、もう一つは昭和日本の政治史への理解です。これは共に私が昭和時代を生きたこと、そして自分が戦前と戦後におかれた現実、さらには自分が戦後になって形成され、人間であるための条件を追及してきた事実から生まれた、私の必然ともいえる課題です。

主要著作

【政治文化と政治変動】(早稲田大学出版部、1977 年)

【政治学における現代】(三一書房、1979 年)

【政治学における理想と現実】(三嶺書房、1981 年)

【民族の基層】(三嶺書房、1983 年)

【日本の政治環境】(三嶺書房、1988 年)

【比較政治考】(三嶺書房、1990 年)

【私学の立場から】(日本経済評論社、1994 年)

【政治は途方に暮れている】(日本放送出版会、1994 年)

所属学会 日本政治学会, 日本平和学会

その他 アメリカ合衆国連邦議会研究員 (1959~60 年)

氏名 海野芳郎 (うんの よしろう)

研究室 406 (内線 3724, email: unno@nuis.ac.jp)

担当科目 外交と情報, 国際政治論, 国際組織, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 教授

生年 1928 年

学歴 1953 年 東京大学文学部西洋史学科卒業

職歴 外務省専門官  
新潟大学法学部教授

研究分野 従来は、第一次、第二次世界大戦間の、いわゆる「戦間期」を中心とする国際政治史、日本外交史の研究を行ってきた。最近はさらに日本の占領期を中心とする内外の問題、東南アジア諸国の独立問題等も研究の視野に入れている。要するに基本史料が公開された 1970 年代までを関心の範囲としている。

#### 主要著作

【国際連盟と日本 (近代日本の外交史叢書 6)】 (原書房、1972 年)

【日本外交史 16(海軍軍縮交渉・不戦条約)】 (鹿島平和研究所、1973 年)

【外務省の百年】 上巻・下巻 (共著)(外務省百年編纂委員会、1969 年)

【佐藤尚武の面目】 (共著)(原書房、1981 年)

【太平洋・アジア圏の国際経済紛争史 1922-1945】 (共著)(東京大学出版会、1983 年)

所属学会 日本国際政治学会, 日本政治学会, 環日本海学会

#### その他

1972 年 10 月 スイス・フランスで国際連盟史料調査

1978 年 6 月 イギリス・フランス・オーストラリア外交史料調査

氏名 區建英 (おう けんえい)

研究室 307 (内線 3715, email: ou@nuis.ac.jp)

担当科目 日本思想, 現代中国論, 中国文化論 1・2, 中国語 I・II, 情報文化研究 II

職名 助教授

生年 1955 年

学歴 1982 年 広州外国語学院 (大学) 日本言語文化科卒業

1984 年 北京師範大学歴史学系修士課程卒業

1993 年 東京大学総合文化研究科博士課程修了

文学博士 (東京大学)

職歴 1984~93 年 (中国) 暨南大学歴史学部専任講師

1988~95 年 学習院大学文学部兼任講師

1993~94 年 東京大学教養部客員研究員

研究分野 東アジアの西洋文明理解。百年前から西洋の文明が非西欧の世界へ拡大し始めた時、東アジア諸国はその理解とそれへの対処を迫られ、異文化に対する受容と抵抗、自己再生の壮大なドラマを展開した。そのドラマは今日まで続いている。

私の研究は近代以来の東西文化接触、そして東アジア内の相互の文化接触におけるアジア人民の屈折と成功、悲しみと喜びを辿る。

#### 主要著作

『日本的市民社会』(監修)(新世紀出版社、1992 年)

「近代文明と儒教」「近代日本と東アジア」(共著)(筑摩書房、1995 年)

「中国における福沢諭吉理解」(『日本歴史』1992 年 2 月号)

「福沢諭吉研究と丸山眞男」(『みすず』1992 年 10 月号)

「励みと悲しみ — 近代中国と日本」(『世界』1995 年 3 月号)

所属学会 (日本) 中国社会文化学会, アジア政経学会, 政治思想学会  
(中国) 中国日本史学会, 中華全国日本哲学研究会

その他 1986 年に東京大学大学院で近代日本思想を研究するために来日。以後同大学院で研究するかたわら、学習院大学で講師をつとめ、また慶應義塾福沢研究センター、東京大学教養部の客員研究員を兼務した。

氏名 小澤治子 (おざわ はるこ)

研究室 508 (内線 3737, email: haruko@nuis.ac.jp)

担当科目 日ロコミュニケーション論 1・2, 情報文化研究 II

職名 助教授

生年 1956 年

学歴 1979 年 上智大学外国語学部ロシア語学科卒業

1986 年 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位取得満期退学

職歴 日本国際問題研究所ロシア研究センター研究員

研究分野 主な研究分野は、20 世紀の日ソ・日ロ関係の歴史を東アジアの国際関係の中で考察することである。特に 1917 年のロシア革命、また第 2 次世界大戦、さらにはペレストロイカからソ連解体にいたる時期に関心をもって研究を進めてきた。

#### 主要著作

【パールハーバー 50 年：日本・アメリカ・世界】(共著)(東洋経済新報社、1991 年)

【アジアの中の日本と中国 — 友好と摩擦の現代史】(共著)(山川出版社、1995 年)

【世界の現代史を学ぶ】(共著)(晃洋書房、1995 年)

「モスクワと極東、アジア・太平洋 — ロシアの対外政策路線の一考察」(『外交時報』第 1302 号 1993 年 10 月)

「ペレストロイカとソ連のアジア・太平洋観」(『ロシア研究』第 18 号 1994 年 4 月)

所属学会 ロシア東欧学会, 日本国際政治学会, アジア政経学会, 軍事史学会, ロシア史研究会

氏名 越智敏夫 (おちとしお)

研究室 503 (内線 3732, email: tochi@nuis.ac.jp)

担当科目 現代アメリカ論, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 講師

生年 1961 年

学歴 1986 年 立教大学法学部卒業

1992 年 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位取得満期退学

職歴 1992~94 年 立教大学法学部助手

1994~96 年 シカゴ大学客員研究員

研究分野 現代政治、アメリカ政治論。

現代政治理論の発展と市民社会・政治文化の関連の研究。主に 20 世紀のアメリカを中心にした先進諸国における政治学理念の展開を現実政治との関係のなかで考察する。国家を中心とした一元的な政治統合の態様を批判的に検討し、その代替物の可能性を思想的課題として考えたい。

主要著作

「民主主義的統合論と経営管理論の間 — M. P. フレットの政治理論」(『慶應義塾大学大学院法学研究科論文集』第 29 号 1989 年)

「政治統合論の一考察 — 市民宗教を中心として」(『慶應義塾大学大学院法学研究科論文集』第 32 号 1991 年)

「政治文化と市民宗教」(『立教法学』第 38 号 1993 年)

「アメリカ市民社会の自画像」(『私学公論』1993 年 10 月号)

テツオ・ナジタ「過去における現在」(翻訳) “The Journal of Pacific Asia” (vol.2 1996)

所属学会 日本政治学会, 日本アメリカ学会, American Political Science Association



氏名 金己大 (きむ きで KIM KI-DAE)

研究室 168 (内線 3704, email: kimkd@nuiis.ac.jp)

担当科目 現代朝鮮論, コリア語文化研究 I, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 教授

生年 1929 年 韓国生まれ

学歴 1954 年 京都大学経済学部卒業

1964 年 東京大学大学院農業経済科博士課程終了

1968 年 農学博士 (東京大学)

研究分野 現代朝鮮半島 (大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国) の社会を政治と経済を中心に、大戦後の新生独立諸国のなかに置いて、NIES、社会主義 (中国、ベトナム) との比較の視点から、また東アジア諸国との経済交流について考察、研究している。

主要著作

「第 3 世界の中の朝鮮半島」(『朝鮮学国際学術討論会論文集』北京大学 1988 年 8 月)

「朝鮮半島・脱冷戦社会への道」(『世界』1990 年 12 月)

「転換期韓国の市民社会」(『私学公論』1993 年 10 月)

「朝鮮民主主義人民共和国、冷戦後時代の課題と国際学術交流」(『環日本海研究』1995 年 11 月)

「朝鮮民主主義人民共和国の投資環境・現状と課題」(『円高下の直接投資と日本産業構造調整に関する調査研究』(財)産業研究所 1996 年 6 月)

所属学会 比較経済体制学会, 環日本海学会, 東アジア経済経営学会

氏名 蔡建国 (さいけんこく)

研究室 608 (内線 3756, email: sai@nuis.ac.jp)

担当科目 中国語 III, 日中コミュニケーション論 1・2, 中国語文化研究 I・II, 情報文化研究 II

職名 助教授

生年 1953 年

学歴 1990 年 哲学博士 (歴史学) (ドイツ・Humboldt University)

職歴 1992 年～ 早稲田大学 (第 1・2 文学部「東洋史学研究」、政治経済学部「歴史学」) 非常勤講師

研究分野 中国近代思想史、近代日中関係史。

「西洋の衝撃」をめぐる中国思想文化発展の歴史構造を再考察する一方、今日中国社会に貫徹している諸問題の中に現われた歴史的特質及び共通問題の諸相を再検討する。また、それに関連して近代以来見ることのできる相互依存、共存、対立する日中関係の中で、近代日中文化の相違点を踏まえ、両国の相互認識の態様を考えている。

主要著作

『蔡元培画伝』(人物伝記)(上海人民美術出版社、1988 年)

『蔡元培与近代中国』(上海社会科学院出版社、1988 年)

「近代中国知識人の日本文明理解の態様」(『近代中国研究彙報』第 15 号 東洋文庫 1993 年)

「『西洋の衝撃』をめぐる中国思想文化発展の歴史構造」(『史滴』第 15 号 早稲田大学 1994 年)

「『伝統』『近代化』の間」(『史林』上海社会科学院歴史研究所 第 3 号 1996 年)

所属学会 アジア政経学会, 東方学会, 中国社会科学研究会 (代表)

その他 現在、文部省科学研究・重点領域研究「現代中国の構造変動」プロジェクトに参加している。

中国・上海社会科学院歴史研究所持約研究員

上海社会科学院アジア太平洋研究所持約研究員

華東師範大学中国史学研究所特約研究員 (特約教授)

氏名 佐藤晟 (さとう あきら)

研究室 505 (内線 3734, email: satoh@nuiis.ac.jp)

担当科目 英語 1・2・3, 近代化論, 英語文化研究 II, 情報文化研究 II

職名 教授

生年 1930 年

学歴 1957 年 東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻修士課程修了

職歴 新潟大学人文学部教授

研究分野 前任地の大学では英米文学を専攻し、アメリカの小説が研究範囲であった。研究対象としては 19 世紀のピューリタン作家 Nathaniel Hawthorne、Herman Melville、20 世紀前半の自然主義作家 Theodore Dreiser、「ジャズ時代」の代表作家 F.S.Fitzgerald 等の名前が挙げられる。このほか 19 世紀のヨーロッパの文芸にもいささか関心があり、最近では日本の近代文学も時折読んでいる。

主要著作

「*The House of the Seven Gables* における孤独感」(『新潟大学英文会』1966 年)

「Nathaniel Hawthorne の “Roger Malvin’s Burial” について」(『新潟大学人文科学研究』1973 年)

「*The Marble Faun* 小考」(『新潟大学人文科学研究』1973 年)

「Herman Melville の “Bartleby, the Scrivener” について」(『新潟大学人文科学研究』1973 年)

「T.Dreiser の *An American Tragedy* を読む」(『新潟大学人文科学研究』1973 年)

所属学会 新潟大学英文学会, 日本英文学会, 日本ナサニエル・ホーソン協会

氏名 澤口晋一 (さわぐち しんいち)

研究室 409 (内線 3727, email: sawashin@nuis.ac.jp)

担当科目 環境情報, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 講師

生年 1959 年

学歴 1983 年 明治大学文学部史学地理学科地理学専攻卒業

1992 年 明治大学大学院文学研究科地理学専攻博士課程単位取得

職歴 1992~1996 年 明治大学文学部・国士舘大学文学部非常勤講師

1994~1996 年 東海大学文学部非常勤講師

研究分野 1・高緯度極地と中緯度高山山地における地形プロセスの比較研究。

2・氷期から後氷期にかけて生じた環境変化を氷河・周氷河地形から明らかにすること。

#### 主要著作

【世界の山々】(分担執筆)(古今書院、1995 年)

【第四紀露頭集・日本のテフラ】(分担執筆)(日本第四紀学会、1996 年)

【アルペンガイド 便利辞典】(分担執筆)(山と溪谷社、1997 年)

「人為がまねいた氷期の景観」(『科学』58-9、1988 年)

「スピッツベルゲンの周氷河性岩屑斜面における斜面物質の移動速度とプロセス」(『地学雑誌』104-6 1995 年)

所属学会 日本地理学会, 日本第四紀学会, 東北地理学会, 東京地学協会, 寒冷地形談話会

#### その他

1988~1989 年夏期、教育社極地プロジェクト研究分担者として北極圏スバルバル諸島調査。

1990~1992 年、及び 1994 年夏期、文部省科学研給費学術調査研究分担者として北極圏スバルバル諸島調査。

氏名 高瀬昭治 (たかせ しょうじ)

研究室 304 (内線 3713, email: takase@nuis.ac.jp)

担当科目 コミュニケーション論, 国際関係論, 平和学, 情報文化研究 II

職名 教授

生年 1929 年

学歴 1953 年 東京大学文学部美学・美術史学科卒業

1954 年 東京大学大学院人文科学研究科美学専攻修士課程中退

職歴 徳島大学総合科学部教授

研究分野 コミュニケーション論と国際関係論の 2 つの分野に大別される。前者では、コミュニケーションの基本構造の分析をテコに、情報文化社会の特質の解明を目指す。後者では、冷戦後の国際社会の分析を通じて、軍事力に頼らない形で、構造的な暴力をなくす方策を探る。

主要著作

【安全保障とは何か】(共著)(朝日新聞社、1967 年)

【交渉力の研究】(共著)(学陽書房、1981 年)

「平和と安全保障への日本の貢献」【1990 年代日本の課題】(共著)(三省堂、1987 年)

「生命科学の光と陰」(四国地区大学放送公開講座【未来を開く生命科学】1990 年)

「コミュニケーション過程におけるディスコミュニケーションの契機について — W・モラエスの場合」(『徳島大学総合科学部紀要』1993 年)

所属学会 日本マス・コミュニケーション学会, 日本平和学会

氏名 高橋正樹 (たかはし まさき)

研究室 609 (内線 3757, email: tmasaki@nuis.ac.jp)

担当科目 現代東南アジア論, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 講師

生年 1956 年

学歴 1981 年 中央大学法学部政治学科卒業

1990 年 中央大学大学院法学研究科政治学専攻博士後期課程満期退学

職歴 タイ国タマサート大学客員研究員

中央大学法学部兼任講師

研究分野 タイ政治研究。現在は、タイやアメリカの公文書館にある資料を参考にしながら、ベトナム戦争が本格化する直前のタイとその周辺国との国際関係を研究しています。この研究から、アメリカの影響が決定的になる前の東南アジア諸国の独自の国際関係を解明していきたいと思っています。

#### 主要著作

「19 世紀前半におけるバンコク王朝の政治秩序 — 交易港と権威交易体制 —」『法学新報』中央大学法学会 第 96 巻 1・2 号 (1989 年 11 月)

「パヤパープ反乱にみる 19 世紀末の北タイの紛争構造」『平和研究』日本平和学会 第 14 号 (1989 年)

「政治と地域研究」『私学公論』1991 年 7・8 月合併号

「カンボジア紛争とタイ外交 (1978-82 年) — 東南アジア国際関係と前線国家外交 —」

『中央大学企業研究所年報』第 14 号 (II) (1993 年 7 月)

「カンボジア紛争とタイ共産党の崩壊 — 東南アジア地域国際システムとタイ国家 —」

『中央大学社会科学研究所共同研究報告書』(1996 年 7 月)

所属学会 日本国際政治学会, 東南アジア史学会

#### その他

タイ・タマサート大学政治学部訪問研究員 (1986~88 年)

タイ・タマサート大学東アジア研究所訪問研究員 (1992~94 年)

アメリカでの調査・研究 (1995~96 年)

氏名 原口武彦 (はらぐち たけひこ)

研究室 167 (内線 3703, email: takehiko@nuis.ac.jp)

担当科目 国際地域論, 情報化と発展途上国, 教養演習, 情報文化研究 I・II

職名 教授

生年 1934 年

職歴 アジア経済研究所アフリカ総合研究プロジェクト・コーディネイター

研究分野 仏語圏西アフリカ諸国の様子を素材として、現代世界における国家と族的集団 (部族、民族) との関係を検討する。

主要著作

【部族 — その意味とコートジボワールの現実 —】 (アジア経済研究所、1975 年)

【アビジャン日誌 — 西アフリカとの対話 —】 (アジア経済研究所、1985 年)

【部族と国家 — その意味とコートジボワールの現実】 (アジア経済研究所、1996 年)

【現代国家と移民労働者】 (共著)(有信堂、1992 年)

「私の地域研究観」『私学公論』(1991 年 7・8 月合併号)

所属学会 日本アフリカ学会

その他

チュニジア・チュニス大学社会経済研究所客員研究員 (1966・4~1967・9)

コートジボワール社会経済研究センター客員研究員 (1967・10~1968・3, 1982・4~1984・3, 1988・4~1990・3)

氏名 広瀬貞三 (ひろせ ていぞう)

研究室 506 (内線 3735, email: [hirose@nuis.ac.jp](mailto:hirose@nuis.ac.jp))

担当科目 コリア語, コリア語文化研究 1, 朝鮮文化論 1・2, 日朝コミュニケーション論 1・2, 情報文化研究 I・II

職名 講師

生年 1956 年

学歴 1979 年 早稲田大学第二文学部東洋文化科卒業  
1984 年 韓国高麗大学大学院史学科韓国史専攻修士課程修了

職歴 中央大学経済学部兼任

研究分野 朝鮮近代史。時期は、開港(1876年)から解放(1945年)まで。この間の朝鮮社会の急速な変貌と、植民地政策との関連に関心を持つ。現在は道路、発電所などの産業基盤整備がいかに進められたのか、またその過程で農村から労働者がどのように形成されていったのか等を中心に研究している。

主要著作

- 『産業の昭和社会史・12 土木』(共著)(日本経済評論社、1993年)
- 「19世紀末日本の朝鮮鉱山利権獲得」『朝鮮史研究会論文集』22号(1985年3月)
- 「李容翊の政治活動(1904~1907)」『朝鮮史研究会論文集』25号(1988年3月)
- 「水豊発電所建設による水没地問題」『朝鮮学報』139号(1991年4月)
- 「植民地朝鮮における官斡旋土建労働者」『朝鮮学報』155号(1995年4月)

所属学会 朝鮮史研究会, 朝鮮学会, 国際韓国語教育学会, 日本植民地研究会

その他 韓国留学(ソウル大学語学研究所、高麗大学)(1990年8月~84年3月)



情報文化学部 情報システム学科

氏名 赤木敏子 (あかぎ としこ)

研究室 504 (内線 3733, email: akagi@nuiis.ac.jp)

担当科目 統計と情報, 生活情報, 情報処理・演習 2, 情報システム演習

職名 教授

生年 1939 年

学歴 1961 年 日本女子大学家政学部政理学科卒業

研究分野 官能検査手法の研究。つまり, 近代統計学を応用した官能検査法を日本専売公社のたばこ香喫味の評価に導入し, 評価体制を確立するとともに, 葉たばこ中の香気成分, 葉組, シガレットのフィルターや巻紙の種類などと香喫味との関係を明らかにした。また, 信頼できる評価結果を得るにはどのような手法が適しているかなどについて検討した。さらに, 消費者のニーズがどのような方向にあるのかを探り, 食品市場や飲料市場のトレンドを予測した。

#### 主要著作

「消費者母集団の嗜好構造検査処理についての K-visit 法とデータ処理」(品質管理 VOL.12 NO.10 1961 年)

「フィルターたばこの品質に及ぼす巻紙とチップの開孔効果」(香喫味評価, ならびにその他特性との相互関係について — 専売中研報告 NO.120 1978 年)

「程度を表す表現用語について」(ENGINEERS '85 2月号 1985 年)

「選択の諸相 — 葉たばこの香喫味と消費者嗜好について」(野中敏雄編 翔人社 1985 年)

「新潟における情報システム化状況調査」(本大学共同研究 1995 年)

所属学会 日本行動計量学会, 応用統計学会, 情報処理学会, 日本官能評価学会

氏名 浦昭二 (うら しょうじ)

研究室 164 (内線 3700, email: [ura@nuis.ac.jp](mailto:ura@nuis.ac.jp))

担当科目 アルゴリズム, 情報システム特論, 情報処理・演習 2, 情報システム演習

職名 情報文化学部長・教授

生年 1927 年

学歴 1952 年 東京大学工学部応用数学科卒業

東京大学大学院特別研究生

理学博士 (東京大学)

職歴 慶應義塾大学理工学部管理工学科教授

研究分野 情報システムをめぐって、いろいろな見方がある。コンピュータを中心に効率面だけから捉えることが多いが、それでは種々の問題が起こる。より効率的にその機能を発揮させるにはそれを取り巻く人間および組織体を含めた情報収集・蓄積・提供・利用の仕組とみなすのがよい。そこで、記号論や社会学を含め、幅広い立場からアプローチするための体系化について検討をくわえる。

主要著作

【情報システムハンドブック】 (培風館 1989 年)

「情報システム人材の教育体系の確立について」 (情報処理 Vol.34, No.61, 1993 年)

所属学会 情報処理学会, Association for Computing Machinery

氏名 大山毅 (おおやま たけし)

研究室 408 (内線 3726, email: ohyama@nuis.ac.jp)

担当科目 人間情報工学 1, 人間情報工学 2, 基礎演習 1, 基礎演習 2, 情報処理・演習 1, 情報システム演習

職名 講師

生年 1940 年

学歴 1964 年 神奈川大学工学部応用化学科卒業

研究分野 人間工学の立場から人間の特性およびその測定方法について研究しています。また、職場や家庭など生活のあらゆる場面において、人間が「快適」であるための条件を探り、「快適」であることを実現することをめざしています。

#### 主要著作

「四日市コンビナートの事故におけるヒューマンエラーの分析」(共著)(1990,12,12, Technical Report No.90003, Department of Administration Engineering Faculty of Science and Technology Keio University)

「超音波探傷における作業姿勢の影響」(共著)(日本設備管理学会誌 Vol.5, No.1, 8-15,1993)

「手動制御系における予測情報の効果」(人間工学 Vol.29, No.5, 313-319, 1993)

「コンビナートにおけるヒューマンエラーの相関分析」(1993,4,2, Technical Report No.93004, Department of Administration Engineering Faculty of Science and Technology Keio University)

「反応時間に関する一研究」(1993,5,10, Technical Report No.93009, Department of Administration Engineering Faculty of Science and Technology Keio University)

所属学会 日本人間工学会, バイオメカニズム学会, 日本設備管理学会, 情報文化学会

その他 日本人間工学会評議員

氏名 片山禎昭 (かたやま よしあき)

研究室 509 (内線 3738, email: katayama@nuis.ac.jp)

担当科目 情報産業, 情報システム, ソフトウェア開発, オペレーションズ・リサーチ 2, 基礎演習 1, 情報システム演習

職名 教授

生年 1928 年

学歴 1952 年 東京大学工学部機械工学科卒業

職歴 (株) 東芝にて半導体, コンピュータ等の製造に従事。青梅工場 (コンピュータ工場) 工場長, 東芝アドバンスシステム (ソフト会社) 社長等を経て, 新潟国際情報大学教授。

研究分野 経営工学, ソフトウェア品質管理。産業として新興であるソフトウェア分野における品質・信頼性管理技術の開発のため, すでに体系と実績が確立しているハードウェア分野の品質・信頼性技術 (品質機能展開, 確率論的安全解析など), あるいは OR 分野の新技术 (AHP など) を, ソフトウェア分野に導入し, カスタマイズする研究を行ってきた。なお最近, ソフトウェア開発における人間要因の研究を開始している。

#### 主要著作

【ソフトウェアの品質管理と生産技術】 日経品質管理文献賞受賞 (日本規格協会 1988 年)

【品質機能展開による高品質ソフトウェアの開発手法】 (コンピュータ・エージ 1989 年)

【AHP 事例集】 (日科技連出版 1990 年)

「ソフトウェア開発企画における QFD」 (日本品質管理学会誌 1994 年)

「ソフトウェア開発におけるヒューマンファクタの分析」 (第 15 回ソフトウェア信頼性シンポジウム 1994 年)

所属学会 日本品質管理学会, 日本信頼性学会, ソフトウェア技術者協会

その他 資格: 技術士 (経営工学部門)

氏名 齋藤泰則 (さいとう やすのり)

研究室 606 (内線 3754, email: ysaito@nuis.ac.jp)

担当科目 情報検索, 情報処理・演習 1, 基礎演習 1, 基礎演習 2, 情報システム演習

職名 助教授

生年 1958 年

学歴 1980 年 慶應義塾大学文学部図書館情報学科卒業  
1992 年 東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学  
教育学修士 (東京大学, 1989)

職歴 1980 年 4 月～1987 年 3 月 慶應義塾図書館司書  
1992 年 4 月～1996 年 3 月 鹿児島経済大学社会学部専任講師

研究分野 情報検索の理論研究、特に、人間の知識を論理的に取り扱う枠組みを使って情報検索を位置付けることと、検索言語を論理的に処理する研究を行っています。また、インターネット環境における学術情報システムの動向や種々の検索システムについても関心をもっています。

#### 主要著作

論文 (単著)

”情報探索行動”ほか 『図書館情報学ハンドブック第2版』丸善 (1998 年刊行予定)

”情報検索言語の意味論”, 鹿児島経済大学情報処理センター年報 No.1 p.1-26(1995)

”大学図書館における利用者教育と情報探索能力”, 『図書館における利用者教育 — 理論と実際 —』日本図書館学会研究委員会編.p.58-74 (1994).

”情報探索と質問定式化 — オンライン目録探索を中心に —”, Library and Information Science No.30 p.77-92 (1992).

”レファレンス・インタビューにおける利用者モデル”, Library and Information Science No.30 p.69-85 (1989).

翻訳 (共訳)

『情報検索論 — 認知的アプローチへの展望 —』Ellis, D. [New Horizons in Information Retrieval]. 細野公男監訳. 丸善 1994. 180 p.

所属学会 三田図書館情報学会, 日本図書館学会, 情報処理学会, 人工知能学会, American Society for Information Science(ASIS)

氏名 榊俊作 (さかき しゅんさく)

研究室 401 (内線 3720, email: sakaki@nuis.ac.jp)

担当科目 経営計算 1, 経営計算 2, 情報処理・演習 1, 基礎演習 1, 情報システム演習

職名 講師

生年 1954 年

学歴 1977 年 東京大学経済学部経済学科卒業

職歴 アンダーセンコンサルティング

研究分野 時価会計。先物、スワップ、オプション等金融派生商品が金融機関のみならず一般事業法人にも広まるにつれ、従来の原価主義をベースとした会計情報の有用性が問い直されつつあります。時価会計の有用性について考えてみたいと思います。

主要著作

【会計システム設計の実務】(中央経済社(共著)1985年)

【システム開発最新技法】(日経マグローウヒル(共著)1985年)

【M&Aの財務会計戦略】(ビジネス教育出版(共著)1989年)

【新経理実務大事典】(産業調査会(共著)1994年)

所属学会 実践経営学会, 会計学研究学会

氏名 正田達夫 (しょうだ たつお)

研究室 502 (内線 3731, email: shouda@nuis.ac.jp)

担当科目 マーケティング, 基礎演習 1, 情報システム演習

職名 講師

生年 1933 年

学歴 1955 年 慶應義塾大学経済学部卒業

1965 年 テネシー州立メンフィス大学大学院ビジネススクール経営修士課程 (MBA) 修了

研究分野 アメリカで学んだマーケティングを, 実際の企業活動の中でどのように実践し, 効果をあげるかに取りくんできた。研究活動としては, 1965 年に「DAGMAR — 目標による広告管理」を実業界に紹介し, 自らも実践し, 企業独自の広告効果モデルを開発 (1981) した。1969 年の『製品計画の立て方』以来, 製品計画の分野での実戦的研究を続け, テストマーケティングについては, 理論と事例をまとめ, 我が国では数少ない論文を発表した (1994)。

主要著作

『製品計画の立て方』 (日本経済新聞社 1969 年)

「ライフスタイル分析と食品マーケティング」 (『ライフスタイル発想法』ダイヤモンド社 1975 年)

「新製品開発と市場導入計画」 (『総合マーケティングハンドブック』ビジネス社 1982 年)

「広告の生産性向上に寄与する広告戦略・広告目標の開発」 (『日経広告研究所報』150 号 1993 年)

「マーケット・テスト発想によるテスト・マーケティング」 (『マーケティング・ジャーナル』54 号 1994 年)

所属学会 日本マーケティング・サイエンス学会, 日本広告学会, 日本商業学会, 日本消費者行動研究会, フードシステム研究会, 日本開発工学学会

その他 在外研究: コーネル大学大学院 (マーケティング研究) (1965 年 3~7 月)



氏名 高木義和 (たかぎ よしかず)

研究室 166 (内線 3702, email: [takagi@nuis.ac.jp](mailto:takagi@nuis.ac.jp))

担当科目 情報論, 情報検索, 情報処理・演習 1, 基礎演習 1, 基礎演習 2, 情報システム演習

職名 教授

生年 1949 年

学歴 1973 年 京都大学農学部食品工学科卒業

1983 年 農学博士 (京都大学)

職歴 日本たばこ産業株式会社 本社科学情報部主任研究員

研究分野 情報をめぐるさまざまな考え方の中で, 情報を人・物・金につづく第 4 の資源ととらえ, 実体としての組織や社会における, 有効な情報発信, 情報受信, 情報管理, 情報解析等, 情報の価値に関する研究を行っている。

主要著作

「インターネットにおける情報検索」(情報管理 Vol.38, No.10 Jan. 1996)

「水府葉たばこの香気成分に関する研究」(京都大学農学部博士論文 1982)

その他の文献 (<http://www.nuis.ac.jp/~takagi/>を参照)

所属学会 三田図書館情報学会, 日本分類学会, 日本栄養・食糧学会, 日本農芸化学会

その他 (財)バテルメモリアル研究所 客員研究員 (1987)

氏名 竹並輝之 (たけなみ てるゆき)

研究室 303 (内線 3712, email: takenami@nuis.ac.jp)

担当科目 情報システム, ビジネスモデル, 情報システム開発, 情報処理・演習 2, 情報システム演習

職名 教授

生年 1941 年

学歴 1963 年 慶應義塾大学工学部管理工学科卒業

1965 年 慶應義塾大学大学院工学研究科管理工学専攻修士課程修了

職歴 1965 年 (株) 東芝入社。情報システムの開発, プロジェクト管理, セールスサポート等に従事, 流通・金融システム事業部システム部長, 情報処理・制御システム本部システム担当技師長を歴任し, 1994 年退職。

研究分野 ビジネス情報システムを開発するための, システム分析, 設計, 開発方法及びシステム開発プロジェクトの管理方法, 情報システムの評価方法の研究を通して, 良い情報システムとはどのようなものか, 使いやすく, 役に立つ情報システムはどのように設計すれば良いかを追究する。また, 来たるべきネットワーク社会に対応した企業組織の変化, その中における管理者の役割と行動の変化について研究する。

#### 主要著作

「多変量解析の基礎」 (共訳) サイエンス社 (1972)

「情報システムハンドブック」 (共編) 培風館 (1989)

「応用システム開発の重点解説」 (共著) アイテック (1995)

「ソフトウェアの標準化」 (共著) NTIS (1979)

「産業界が期待する情報システム技術者教育について」 私学公論 (1991)

【UNIX ベースのクライアント/サーバ大規模ビジネスシステムの構築】 (情報処理学会 (共著) 1993 年)

所属学会 情報処理学会, 三田図書館情報学会

氏名 玉木將二郎 (たまき しょうじろう)

研究室 170 (内線 3706, email: tamaki@nuis.ac.jp)

担当科目 情報技術特論 C, 情報処理・演習 1, 情報処理・演習 2, 情報システム演習

職名 講師

生年 1928 年

学歴 1952 年 東京大学工学部応用数学科卒業

研究分野 数理計画法, 特に, 線形計画法による生産・物流・販売等, 産業社会 (特に石油・鉄・非鉄金属・食品・薬品等いわゆる装置工業) および公共 (発電, 上下水道) における諸計画作成。

主要著作

「石油業における線型計画の利用」(オペレーションズリサーチ 1968 年)

「コンピュータによる配車計画」(オペレーションズリサーチ 1969 年)

所属学会 経営情報学会

その他 資格: 技術士 (情報処理部門)

氏名 槻木公一 (つきぎ こういち)

研究室 603 (内線 3752, email: tsukigi@nuis.ac.jp)

担当科目 プログラミング環境・演習, データベース, 情報システム設計, コンピュータソフトウェア, 基礎演習 1, 情報システム演習

職名 教授

生年 1946 年

学歴 1971 年 東京大学工学系大学院航空学修士課程修了

職歴 前歴 (財) 鉄道総合技術研究所 SI 事業推進部長

研究分野 情報システム分析設計方法論。座席予約システムや TP モニタなどの応用研究と実システムの開発経験を踏まえ、個人・企業・社会などの組織体と情報処理技術が適切に役割分担あるいは相互保管して、融和一体化した情報システムを構築するための方法論を追及する。特に、時空間軸で動的に変化せざるを得ない組織体の活動プロセスを十分に視野にいたれたデザインの枠組みや情報システムのモデル作りを進めたいと考えている。

主要著作

【オンラインシステムのソフトウェア】産業図書 (共著)1977 年

【新版データ通信】電子通信学会 (共著)1979 年

【ソフトウェア指向アーキテクチャ】オーム社 (共著)1985 年

【情報システムの分析と設計】培風館 (共訳)1995 年

所属学会 情報処理学会, 人工知能学会

その他

学会活動: 情報処理学会理事 (1995.5 ~1997.5)

技術士 (情報処理部門 20500)

氏名 永井武 (ながい たけし)

研究室 309 (内線 3717, email: nagai@nuis.ac.jp)

担当科目 科学と技術, コンピュータシステム, 情報技術特論 D, 基礎演習 1, 基礎演習 2, 情報システム演習

職名 教授

生年 1937 年

学歴 1961 年 早稲田大学第一理工学部金属工学科卒業  
1976 年 工学博士 (早稲田大学)

職歴 1961 年~1995 年 富士通研究所

研究分野 オープンな情報システム (含ネットワーク)。文字, 図, 絵, 音, 動画などあらゆるメディアの情報を世界中の人々とやりとりが可能なネットワークの構築。このようなネットワークはビジネス, 研究開発, 買物, 娯楽, 恋愛, 考え方などの道具になると考えている。

主要著作

「世界を結ぶ情報ハイウェイ — インターネット入門」富士通経営研修所 (1994)

「情報孤島日本の危機」工業調査会 (1996)

「プライバシー強化メール PEM における証明配布局の実装と評価」情報処理学会論文誌 **36**, (1995)[8], 2063-2070.

所属学会 情報処理学会

氏名 樋口光明 (ひぐち みつあき)

研究室 169 (内線 3705, email: hig@nuis.ac.jp)

担当科目 人工知能, 情報技術特論 B, 情報処理・演習 2, 情報システム演習

職名 講師

生年 1937 年

学歴 1961 年 九州大学理学部数学科卒業

職歴 1961 年 旭化成工業株式会社入社

1987 年 旭化成情報システム株式会社出向

1991 年 延岡コンピュータ・アカデミー出向

研究分野 情報処理システムの設計全般。上流工程 (フィージビリティスタディ) から下流 (プログラミング) まで。特に最近は人工知能, その中でもエキスパートシステムの設計・開発。ここ 1 年は遺伝的アルゴリズムを用いたスケジューリング問題の解法。

主要著作

【農業分野におけるエキスパートシステム適用可能性】 旭リサーチセンター 1988 年

「多品種少量生産向上の製造スケジューリングに対する GA の適用」 情報処理学会

1995 年

遺伝的アルゴリズムのフライトスケジューリング問題への適用 電子情報通信学会

1996 年

所属学会 情報処理学会, 人工知能学会

その他

1961 年 教員免許 (数学: 高校 2 級)

1971 年 第一種情報処理技術者

1980 年 特種情報処理技術者

氏名 藤瀬武彦 (ふじせ たけひこ)

研究室 172 (内線 3708, email: fujise@nuis.ac.jp)

体育館教員室 (内線 3800)・体育館研究室 1 (内線 3801)・体育館研究室 2 (内線 3802)

担当科目 体力診断と運動処方, 生理機能と情報, 基礎演習 2, 情報システム演習

職名 講師

生年 1962 年

学歴 1985 年 早稲田大学教育学部教育学科体育学専修卒業

1987 年 東海大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程修了 (体育学修士 東海大学)

1992 年 東海大学大学院医学研究科機能系専攻博士課程修了 (医学博士 東海大学)

職歴 1991 年 4 月～1994 年 3 月 東海大学体育学部非常勤講師

研究分野 体育学 (特に運動生理学)。食べ過ぎ, 飲み過ぎ, 運動不足, ストレス, 及び加齢などは, いわゆる成人病 (生活習慣病) を引き起こしやすくすると同時に, 基礎体力の低下を伴ってくる。この問題を解決するための一つの方法として, フィットネス・トレーニングの実践が考えられる。これは, 健康維持や体型調整などのために行われる運動トレーニングである。現在, 研究テーマの一つは, このトレーニングの各種目及び各セット法におけるエネルギー消費量や運動効率などの検討である。

主要著作

「大学教養体育の役割」私学公論, 6 月号, 19-24, 1992 年.

【運動処方の基礎と実際】共訳, アメリカスポーツ医学協会 (ACSM) 編集, 廣川書店, 1994 年.

「一般青年男女における筋力評価尺度としてのバーベル挙上能力測定の試み」体育学研究, 第 39 巻, 403-416, 1995 年.

「学校体育におけるフィットネス教育の必要性」新潟体育学研究, 第 14 巻, 38-40, 1995 年.

「高齢化社会に必要な「生涯フィットネス」」私学公論, 4・5 月合併号, 32-38, 1996 年.

所属学会 日本体育学会, 日本運動生理学会, 日本体力医学会, 日本肥満学会, 日本生理学会

その他

中小企業共同研究開発支援審査委員 (1997 年度)

新潟県陸上競技協会医科学委員 (1997～1998 年度)

氏名 松井孝雄 (まつい たかお)

研究室 404 (内線 3723, email: mat@nuis.ac.jp)

担当科目 心理と行動, 認知科学, 人工知能, 基礎演習 1, 基礎演習 2, 情報処理・演習 1, 情報システム演習

職名 講師

生年 1963 年

学歴 1986 年 京都大学教育学部教育心理学科卒業

1989 年 北海道大学大学院文学研究科行動科学専攻修士課程修了 (文学修士)

1992 年 慶應義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻後期博士課程単位取得退学

1997 年 博士 (心理学) (慶應義塾大学)

職歴 1992 年 4 月～1994 年 3 月 慶應義塾大学文学部非常勤講師 (心理学実験)

1995 年 4～9 月・1996 年 4～9 月 新潟大学工学部非常勤講師 (計算力学)

研究分野 専攻は認知心理学で、とくに人間の非言語的な認知の性質に興味をもっている。大学院の頃から続いている研究テーマは“空間認知における異方性”で、地図の記憶にもとづいた向きの判断の難しさが基準方向によって異なる (例えば、南に向いているときに、北が上に描かれている地図を見るとわかりにくい) という現象をとりあげて実験的研究を行ってきた。最近では、空間認知以外に、無意識的学習と意識的処理の関係、ネットワークコミュニケーションの特性、課題の楽しさと記憶の関係といった分野にも手を出しつつある。

#### 主要著作

森敏昭・井上毅・松井孝雄 1995 グラフィック認知心理学 サイエンス社

村越真・松井孝雄 1995 潜在学習 認知科学, 2(3), 12-23.

松井孝雄 1995 空間認知における異方性の研究 慶應義塾大学大学院社会学研究科博士論文

松井孝雄 1992 空間認知の異方性と参照枠 — 整列効果はなぜ生じるのか? — 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要, 34, 51-58.

松井孝雄・小谷津孝明 1992 対称性判断における参照枠と知覚統合 基礎心理学研究, 11, 1-8.

所属学会 日本認知科学会, 日本心理学会, 日本教育心理学会, 日本基礎心理学会

#### その他

1995 年 9 月・1997 年 3 月 通産省工業技術院電子技術総合研究所流動研究員

1996 年 3 月～ 日本認知科学会編集委員



氏名 松崎奈岐 (まつぎき なぎ)

研究室 604 (内線 3753, email: [nagi@nuis.ac.jp](mailto:nagi@nuis.ac.jp))

担当科目 統計と情報, 生活統計, 論理と数理, 情報システム演習

職名 教授・学生部長

生年 1930 年

学歴 1952 年 東京女子高等師範学校卒業

1957 年 お茶の水女子大学理学部数学科卒業

1959 年 大阪市立大学大学理学研究科数学専攻修士課程修了

1961 年 大阪市立大学大学理学研究科数学専攻博士課程中退

研究分野 数理統計学を専門としているが、情報と統計手法の構造を分析、比較して、帰納法による決定論の整合性を追求することを目的としている。たとえ、情報の形態が言語であれ、記号であれ、数値データであっても、その整合性は欠くことができない。又、情報化時代の教育に関する諸問題を数学史とのかかわりの中で研究している。

主要著作

【統計学】 (昭晃堂 1985 年)

【代数及び幾何】 (昭晃堂 1986 年)

所属学会 日本数学会, 応用統計学会, International Statistics Institute (ISI)

その他 トロント大学 (カナダ) 客員教授 (1986 年)

氏名 皆川七郎 (みながわ しちろう)

研究室 301 (内線 3710, email: minagawa@nuis.ac.jp)

担当科目 論理と数理, 数学 2, 数値実験法, 基礎演習 1, 情報システム演習

職名 教授

生年 1927 年

学歴 1952 年 東京大学工学部応用数学科卒業  
1965 年 工学博士 (東京大学)

職歴 1952 年~1959 年 名古屋大学助手 (工学部数学教室)  
1959 年~1964 年 東京大学助手・講師 (工学部計数工学科)  
1964 年~1974 年 東北大学助教授 (工学部機械工学科)  
1974 年~1993 年 電気通信大学教授 (機械工学科)  
1994 年~現在 新潟国際情報大学教授 (情報システム学科)

研究分野 自動制御における非線型問題, 主として, オンオフ制御の精度と安定性に関する諸問題。材料の中にある小さな傷や結晶の欠陥のその材料の強さに及ぼす影響。工業材料の変形や強さへの電磁場の影響。核融合炉ブランケット設計のための基礎データの蓄積。など, 応用数学の立場から, 解析の方法を確立し, また, 実際問題を解析するなど, いくつかの分野の研究を並行して進めている。

#### 主要著作

自動制御 (共著): 1958 年 朝倉書店

応用ベクトル解析: 1973 年 朝倉書店

Dislocation dynamics in anisotropic piezoelectric crystals I; II; III. *Philosophical Magazine*, A, Vol.51, 277, 1985; Vol.56, 343, 1988; Vol.62, 155, 1991.

Continuous distributions of dislocations and disclinations in three-dimensional piezoelectric crystals. *Proc. 2nd Int. Conf. Non-Linear Mech.*, Beijing, 1993, 72-79.

Propagation of harmonic waves in a layered elasto-piezoelectric composite. *Mechanics of Materials*, Vol.19, 165, 1995.

所属学会 日本機械学会, 日本物理学会, 日本材料科学会, 日本応用電磁気学会, 国際応用数  
学力学会

#### その他

米国ノースウエスタン大学客員研究員 (1973 年 9 月~1974 年 8 月, 1975 年 7 月~12 月)

文部省在外研究員 (短期: ポーランド, チェコ, ルーマニアなど)

文部省在外研究員 (国際研究集会派遣: ボン, 上海, プラチスラバ)

日本材料科学会会長(現在), 日本応用電磁気学会監事(現在)  
International Journal of Engineering Sciences(編集顧問: 現在)  
International Journal of Applied Electromagnetics in Materials(編集顧問: 現在)  
国際研究集会の国際組織委員(7回), 例えば, 第2回非線型力学国際会議(北京), 変  
形体の電磁効果に関する日本・ポーランド合同セミナー(ワルソー)など

氏名 宗澤拓郎 (むねざわ たくろう)

研究室 501 (内線 3730, email: munezawa@nuis.ac.jp)

担当科目 経営と情報 2, データ解析 2, 情報技術特論 A, 基礎演習 1, 情報システム演習

職名 助教授

生年 1935 年

学歴 1958 年 東京大学工学部応用化学科卒業

1993 年 筑波大学大学院政策科学科修士課程修了 (経営学修士)

職歴 1958 年~1993 年 味の素株式会社

研究分野 経営管理, 特に研究開発向上のための研究開発マネジメントの方策を提案し, 情報システムと結びつけて企業経営のための意思決定支援システムを策定したいと考えている。

主要著作

【持続的成長のためのマネジメント】(白桃書房(共著)1996年)

【Macintosh こんなことができる】(日本実業出版社(共著)1992年)

「情報システムにおける要求工学に関する調査研究」(産業研究所(共著)1995年)

所属学会 化学工学会, 日本 OR 学会, 情報処理学会, 組織学会, Academy of Management, Association of Information Systems, Internet Society

その他 ハーバード大学ビジネススクール短期コース(1985年)

氏名 大和淳二 (やまと じゅんじ)

研究室 308 (内線 3716, email: yamato@nuis.ac.jp)

担当科目 科学と技術, コンピュータシステム, テレコミュニケーション, マルチメディア情報処理, 基礎演習 2, 情報システム演習

職名 教授

生年 1924 年

学歴 1947 年 東北帝国大学工学部電気工学科卒業  
1975 年 工学博士 (東北大学)

職歴 1947 年~1981 年 NTT 勤務。交換, 伝送, 画像に関する研究に従事  
1981 年~1990 年 新潟大学工学部情報工学科教授  
1994 年より新潟国際情報大学教授

研究分野 電話交換・情報伝送・図形処理・画像処理。不確実な記憶をもとに, 略画を描くだけで目的とする写真や絵画を探索するシステムを考えている。具体的には, あらかじめ原画を大雑把に 10 色位の色の系統の領域に分割して, データベースを作る。検索には, 略画との距離 (領域面積, 領域色, 領域位置など) が最も近いものを選び出す。

#### 主要著作

- 「重み付け中点図形を用いる楕円抽出アルゴリズム」(電子情報通信学会論文誌 D-II 1987 年)
- 「描画像の可変長セグメント符号化法」(電子情報通信学会論文誌 D J71-D 1988 年)
- 「ダイナミックパターン発生法による多色画像の符号化」(電子情報通信学会論文誌 D J71-D 1987 年)
- 「Hough 変換を用いた線分検出の高精度化」(電子情報通信学会論文誌 D-II 1989 年)
- 「視点移動に追従するステレオ像表示の一方法」(電子情報通信学会論文誌 D-II 1987 年)

所属学会 電子情報通信学会

氏名 柳在相 (りゅう ぜさん)

研究室 607 (内線 3755, email: yoo@nuis.ac.jp)

担当科目 経営と組織, 基礎演習 1

職名 助教授

生年 1960 年

学歴 1992 年 慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了 (商学博士)

職歴 (財) 社会経済産性本部国際事業部主任研究員

研究分野 1. 経営戦略 2.ベンチャー・ビジネス 3. 企業家精神 (アントルプレニアシップ)  
4. 競争戦略 5. 戦略経営 (ストラテジック・マネジメント)

#### 主要著作

日韓企業の経営比較

韓国企業の戦略的マネジメントと組織スタイル

成長指向的経営学に対する再考察

戦略形成と学習理論に関する一考察

国際化・情報化の経営学

所属学会 組織学会, 経営管理学会, 経営教育学会

#### その他

1. 米国ペンシルベニア大学経営大学院 (Wharton School) 客員研究員 (1993.4~1994.3)

2. 社会経済生産性本部国際事業部参与 (1994.3~現在に至る)

3. 労働省ビジネス・キャリア制度「経営企画分野専門委員会」専門委員 (1996.4~現在に至る)

氏名 鷺尾泰俊 (washio やすとし)

研究室 402 (内線 3721, email: washio@nuis.ac.jp)

担当科目 生産企画と管理, データ解析 1, 数学 1, 基礎演習 1, 情報システム演習

職名 教授

生年 1929 年

学歴 1953 年 九州大学理学部数学科卒業  
1971 年 理学博士 (九州大学)

職歴 1953 年 4 月~1958 年 3 月 九州大学理学部助手  
1958 年 4 月~1961 年 3 月 旭化成工業株式会社社員  
1961 年 4 月~1994 年 3 月 慶應義塾大学理工学部助教授・教授

研究分野 1. 新製品開発・設計段階における統計的手法の研究。現在、ユーザーが製品をどのように使おうとも一定の機能を果たすといった、“よい”製品が要求されている。このために、製品の開発・設計段階でその製品の使用状態を想定し、これを考慮した設計をしなければならない。このために、どのような実験を行なうのがよいか、この実験データをどう解析し、その結果を製品設計にどのように反映させるか、といった研究。

2. 実験計画法。

#### 主要著作

「推定と検定」, 共立出版, 1978 年

「品質管理」(共著), 日本規格協会, 1980 年

「日常の中の統計学」, 岩波書店, 1983 年

「実験の計画と解析」, 岩波書店, 1988 年

「実験計画法入門 — 改訂版」, 日本規格協会, 1997 年

所属学会 応用統計学会, 日本品質管理学会, 国際統計学会, アメリカ品質管理学会

その他 在外研究: スタンフォード大学訪問研究員 (1975~76 年)

氏名 渡辺忠 (わたなべ ただし)

研究室 407 (内線 3725, email: watanabe@nuis.ac.jp)

担当科目 オペレーションズ・リサーチ 1, シミュレーション, 情報処理・演習 1, 情報処理・演習 2, 基礎演習 1, 情報システム演習

職名 教授

生年 1939 年

学歴 1961 年 北海道大学理学部数学科卒業

1970 年 上智大学大学院経済学研究科修士課程修了

職歴 防衛庁陸上幕僚監部分析室長

防衛庁統合幕僚監部分析室長

研究分野 オペレーションズ・リサーチ

主要著作

【初等 OR テキスト】(日科技連出版社(共著) 1972 年)

【OR ワークブック】(日科技連出版社(共著) 1984 年)

所属学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 経営情報学会



# 索引

Academy of Management, 43  
American Political Science Association, 14  
American Society for Information Science,  
29  
American Society of International Law, 4  
Association for Computing Machinery, 26  
Association of Information Systems, 43

International Statistics Institute, 40  
Internet Society, 43

會田彰, 3  
赤木敏子, 25  
明石欽司, 4  
アジア政経学会, 12, 13, 16  
アメリカ学会, 9  
アメリカ品質管理学会, 46  
アメリカ文化論, 9  
アルゴリズム, 26

池田庄治, 5  
石川真澄, 6  
市岡政夫, 7

臼井陽一郎, 8  
内山鉄二郎, 9  
内山秀夫, 10  
浦昭二, 26  
海野芳郎, 11

英語, 17  
英語文化研究, 9, 17

區建英, 12  
応用統計学会, 25, 40, 46

大山毅, 27  
小澤治子, 13  
越智敏夫, 14  
オペレーションズ・リサーチ 1, 47  
オペレーションズ・リサーチ 2, 28

会計学研究学会, 30  
外交と情報, 11  
化学工学会, 43  
科学と技術, 36, 44  
学生部長, 40  
学長, 10  
学部長, 26  
片山禎昭, 28  
環境情報, 18  
環日本海学会, 3, 7, 11, 15  
寒冷地形談話会, 18

企業と経営, 5  
基礎演習 1, 27-32, 35, 36, 39, 41, 43, 45-  
47  
基礎演習 2, 27, 29, 32, 36, 38, 39, 44  
金己大, 15  
教養演習, 3-6, 8, 9, 11, 14, 15, 18, 20, 21  
近代化論, 17

軍事史学会, 13

経営管理学会, 45  
経営教育学会, 45  
経営計算, 30  
経営情報学会, 34, 47  
経営と情報 2, 43  
経営と組織, 45

経済社会学会, 8  
 経済と社会, 5  
 現代アメリカ論, 14  
 現代中国論, 12  
 現代朝鮮論, 15  
 現代東南アジア論, 20  
 現代ヨーロッパ論, 8  
 現代ロシア論, 7  
  
 国際応用数学力学会, 41  
 国際関係論, 19  
 国際経済学会, 8  
 国際社会と法, 4  
 国際政治論, 11  
 国際組織, 11  
 国際地域論, 21  
 国際統計学会, 46  
 コミュニケーション論, 19  
 コリア語, 22  
 コリア語文化研究, 15, 22  
 コンピュータシステム, 36, 44  
 コンピュータソフトウェア, 35  
  
 蔡建国, 16  
 斎藤泰則, 29  
 榊俊作, 30  
 佐藤晟, 17  
 澤口晋一, 18  
  
 実践経営学会, 30  
 シミュレーション, 47  
 正田達夫, 31  
 情報化と発展途上国, 21  
 情報技術特論 A, 43  
 情報技術特論 B, 37  
 情報技術特論 C, 34  
 情報技術特論 D, 36  
 情報検索, 29, 32  
 情報産業, 28  
 情報システム, 28, 33  
  
 情報システム演習, 25-34, 36-41, 43, 44,  
 46, 47  
 情報システム開発, 33  
 情報システム設計, 35  
 情報システム特論, 26  
 情報社会論, 3  
 情報処理・演習 1, 27, 29, 30, 32, 34, 39,  
 47  
 情報処理・演習 2, 25, 26, 33, 34, 37, 47  
 情報処理学会, 25, 26, 29, 33, 35-37, 43  
 情報センター長, 6  
 情報文化, 10  
 情報文化学部長, 26  
 情報文化学会, 27  
 情報文化研究 I, 3-9, 11, 14, 15, 18, 20-22  
 情報文化研究 II, 3-9, 11-22  
 情報論, 32  
 人工知能, 37, 39  
 人工知能学会, 29, 35, 37  
 心理と行動, 39  
  
 数学 1, 46  
 数学 2, 41  
 数値実験法, 41  
  
 生活情報, 25  
 生活統計, 40  
 生産企画と管理, 46  
 政治思想学会, 12  
 政治情報, 6  
 政治と文化, 3  
 生理機能と情報, 38  
 世界法学会, 4  
  
 組織学会, 43, 45  
 ソフトウェア開発, 28  
 ソフトウェア技術者協会, 28  
  
 体力診断と運動処方, 38  
 高木義和, 32  
 高瀬昭治, 19

高橋正樹, 20  
 竹並輝之, 33  
 玉木將二郎, 34  
 タマサート大学, 20  
  
 中華全国日本哲学研究会, 12  
 中国語, 12, 16  
 中国語文化研究, 16  
 中国社会科学研究会, 16  
 中国社会文化学会, 12  
 中国日本史学会, 12  
 中国文化論, 12  
 朝鮮文化論, 22  
  
 槻木公一, 35  
  
 データ解析 1, 46  
 データ解析 2, 43  
 データベース, 35  
 テレコミュニケーション, 44  
 電子情報通信学会, 44  
  
 東京地学協会, 18  
 統計と情報, 25, 40  
 東南アジア史学会, 20  
 東方学会, 16  
 東北地理学会, 18  
  
 永井武, 36  
  
 新潟大学英文学会, 17  
 日ロコミュニケーション論, 13  
 日中コミュニケーション論, 16  
 日朝コミュニケーション論, 22  
 日本 OR 学会, 43  
 日本アフリカ学会, 21  
 日本アメリカ学会, 14  
 日本アメリカ文学会, 9  
 日本運動生理学会, 38  
 日本英文学会, 9, 17  
 日本栄養・食糧学会, 32  
 日本応用電磁気学会, 41  
  
 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 47  
 日本開発工学学会, 31  
 日本官能評価学会, 25  
 日本機械学会, 41  
 日本基礎心理学会, 39  
 日本教育心理学会, 39  
 日本経済政策学会, 5  
 日本公共政策学会, 8  
 日本広告学会, 31  
 日本行動計量学会, 25  
 日本国際政治学会, 11, 13, 20  
 日本国際法学会, 4  
 日本材料科学会, 41  
 日本思想, 12  
 日本社会学会, 3  
 日本商業学会, 31  
 日本消費者行動研究会, 31  
 日本信頼性学会, 28  
 日本心理学会, 39  
 日本数学会, 40  
 日本政治学会, 3, 6, 8, 10, 11, 14  
 日本政治史, 6  
 日本生理学会, 38  
 日本設備管理学会, 27  
 日本選挙学会, 6  
 日本体育学会, 38  
 日本第四紀学会, 18  
 日本体力医学会, 38  
 日本中小企業学会, 5  
 日本地理学会, 18  
 日本図書館学会, 29  
 日本ナサニエル・ホーソン協会, 17  
 日本人間工学会, 27  
 日本認知科学会, 39  
 日本農芸化学会, 32  
 日本の経済, 5  
 日本肥満学会, 38  
 日本品質管理学会, 28, 46  
 日本物理学会, 41  
 日本分類学会, 32

日本平和学会, 10, 19  
日本マーケティング・サイエンス学会, 31  
日本マス・コミュニケーション学会, 19  
日本マスコミュニケーション学会, 6  
日本ロシア文学会, 7  
人間情報工学, 27  
認知科学, 39  
  
バイオメカニズム学会, 27  
パヤパーブ反乱, 20  
原口武彦, 21  
  
比較経済体制学会, 15  
東アジア経済経営学会, 15  
樋口光明, 37  
ビジネスモデル, 33  
広瀬貞三, 22  
  
藤瀬武彦, 38  
フードシステム研究会, 31  
プログラミング環境・演習, 35  
文章表現, 6  
  
平和学, 19  
  
マーケティング, 31  
松井孝雄, 39  
松崎奈岐, 40  
マルチメディア情報処理, 44  
  
三田図書館情報学会, 29, 32, 33  
皆川七郎, 41  
  
宗澤拓郎, 43  
  
大和淳二, 44  
  
柳在相, 45  
  
ロシア語, 7  
ロシア史研究会, 13  
ロシア東欧学会, 7, 13  
論理と数理, 40, 41  
  
鷲尾泰俊, 46  
渡辺忠, 47

